

あるく健康ニュース 1月号

脳梗塞の症状？

自分で判断せずに近くの人を呼んで



皆さんこんにちは、今回は脳梗塞についてお話しします。

脳梗塞とは、脳内の血管が詰まってしまい、血液が届かない脳の部分の働きが止まってしまう状態です。

血流の止まっている時間が長くなると、脳の受けるダメージも多くなってしまうます。

この為、なるべく早く病院で治療を受けることが重要です。

では、代表的な症状をご紹介します。喋っていて呂律が回らなくなる、左右で片側の手足に力が入らなくなる、顔の表情の動きがいつもと違う、などの症状が出てきます。

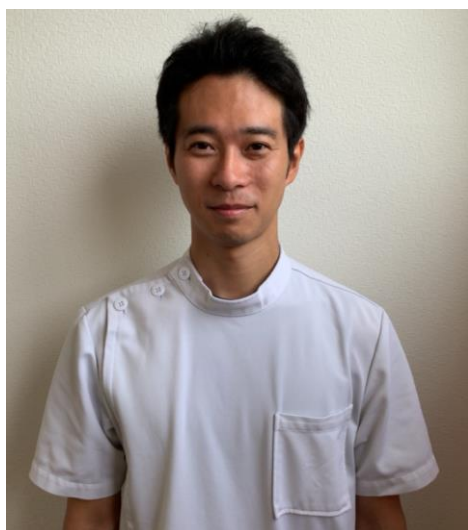


もし上記の症状が出ていたら、直ぐに119番に電話して下さい。

しかし、症状が出ている時は頭がボーッとすることがあり、ご本人にはこれらの症状の自覚が少ない場合があります。

そこで、いつもと違う、何かおかしいなと思った時は、自分で様子を見ようなどと判断せずに、直ぐに近くにいる人を呼んで下さい。

119番



あるく鍼灸治療院 長橋 勇人

ナガハシ ハヤト
鍼灸師・推拿
パーソナルトレーナー

東京都江東区の治療院で10年間修行
目黒の治療院で院長として3年勤務
現在は地域に密着した治療を目指して
訪問での鍼灸治療・推拿療法・
パーソナルトレーニングを行っております。



<https://kuron-aruku-sinkyu.ssl-lolipop.jp>

見附市今町 5-39-39
Kコーポ5 B4

070-4213-9354

sinkyu.nagahashi@gmail.com